

絵を見て、まちがいを10カ所見つけてね。  
正解者のうち、抽選で5人に図書カードをプレゼントします。



応募方法

はがきまたはファクスに①答え(どちらかの絵に○をつける)②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥**広報紙の感想**などを書いて秘書広報課(〒443-8601 FAX 66-1192)へ。当選者と答えは、広報がまごおり1月号に掲載します。

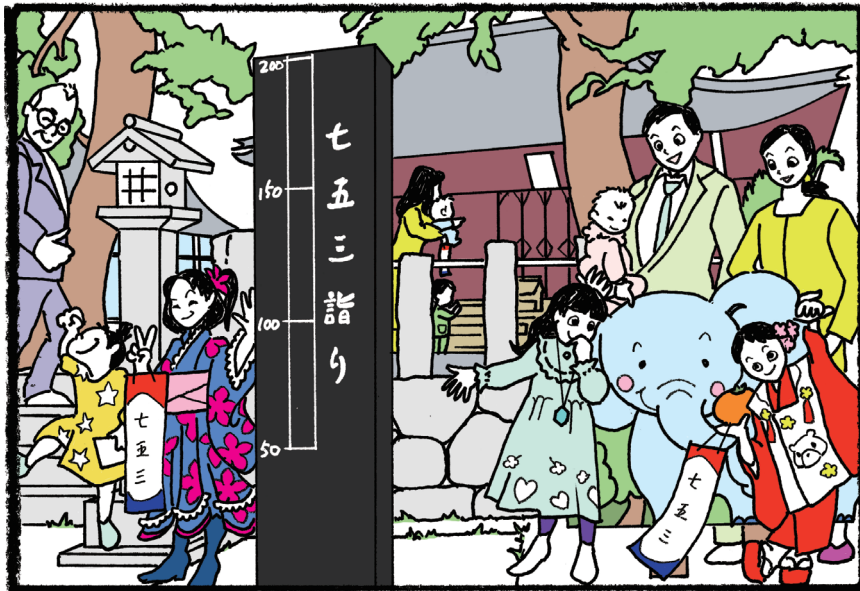
締切 11月15日(日)

9月号当選者

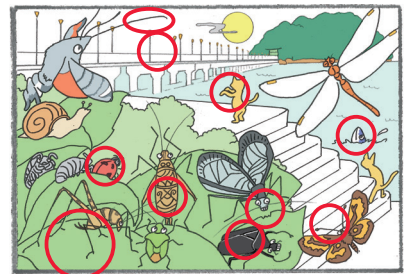
- 大申 妙子(豊岡町)
- 大西 知美(平田町)
- 小田 康介(西浦町)
- 佐々木和子(竹谷町)
- 富谷 真理(拾石町)



画:とうふねこ座  
市川雅子



9月号の答え



七五三

子どもの成長を祝う、日本の伝統的な行事である七五三。諸説ありますが、七五三の由来は平安時代に行われていた儀式だと言われています。3歳の「髪置」は子どもが髪を伸ばし始める節目に行う儀式、5歳の「袴着」は男児が初めて袴を着ける儀式、7歳の「帯解」は女児が大人と同じ帯で着物を着ることを祝う儀式です。

それから約千年もの時が経ち、現代では、好きなタイミングで髪を伸ばし始められるし、この歳にならないと着られないという服はありません。年齢に関係なく個人の好みに応じて、さまざまなおしゃれを楽しめる時代になりました。また、それに合わせて、服そのものも進化しています。着物であれば、イラスト中の左にいる女の子のように、レース・リボンがついているものやブーツを合わせるもの、上下セパレートのものなど、平安時代では考えられない、紫式部もびっくり?なデザインも出てきています。でも、元の形を残しつつ、現代の要素を取り入れるのも、新鮮でおもしろいですね。

何はともあれ、七五三のみなさん、おめでとーございませう。